

Errata

松本文夫・大森雅久・柴 孝也：1972年以降尿路感染症から分離したグラム陰性桿菌の薬剤感受性——とくに Cephalsporin 剤と Aminoglycoside 剤について——。Chemotherapy 24(6)：1431~1435, 1976

p. 1431 左欄 ↑ 8行目
 Amikacin の略号 AKC→AMK (以下, 各頁とも同様)
右欄 ↓ 9行目
 E. coli K-12 ML 1040→*E. coli* K-12 ML 1410

p. 1432 左欄 Table 2
 CET, CEP→CET·CEP (以下, 同様, Table 5 も同様)
右欄 ↓ 12行目
 4 剤→4 株

p. 1435 左欄 文献 1)
1) KUWAHARA, S. & S. GOTO : *In vitro* and *in vivo* comparative evaluation of injectable cephalosporin derivatives and ampicillin. Chemotherapy 22 : 286, 1976

田原達雄・斎藤 功・足立卓三・宮村隆三：慢性尿路感染症に対する, Carfecillin の再発抑制効果, ならびに治療効果。Chemotherapy 24(6)：1448~1454, 1976

p. 1450 左欄 ↓ 9行目
 「……菌が変わっており, 再発の内の大多数が再感染によるものである可能性を示している。」
 ↓
 「……の交代が起つている。」

p. 1451 右欄 ↓ 4行目 の次に挿入する
 「また *P. mirabilis* から菌交代した *E. coli* の Disc 感受性は ABPC, CBPC 両剤の耐性の株2株, ABPC 耐性で CBPC 感受性1株, ABPC 耐性で CBPC 検査せず1株であった。」

(追 加)

なお, *E. coli* に菌交代する前の *P. mirabilis* について感受性を調べたところ, ABPC と CBPC のディスク感受性に相異を示すものを認めない故, CBPC ディスクの力価低下の点は, 可能性が少ないと思われる。